

# 市議会だより くくるめ



6月8日 議長・副議長選挙（副議長選挙における開票の様子）

第185号

平成29年  
7月15日発行

発行：久留米市議会  
編集：議会広報委員会  
久留米市城南町15番地3  
TEL 0942(30)9305  
FAX 0942(30)9720  
E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

重要無形文化財 久留米緋  
(公財) 久留米緋技術保存会蔵

## 議長・副議長の選挙や常任委員会委員の 選任が行われるなど新たな体制がスタート

平成29年

CONTENTS

6月定例会号

- 定例会の概要 . . . . . 2
- 議会運営委員・常任委員の紹介 . . . . . 2  
各委員会の構成が決まりました
- 市政に対する一般質問 . . . . . 6
- 常任委員会の活動状況 . . . . . 10  
閉会中に実施した所管事務調査の概要をお知らせします
- 教えて！くるっば！ . . . . . 12  
議会への素朴な疑問をくるっばがわかりやすく解説します



表紙の緋の模様は、毎号変えています。今回の作品名は「流水」です。

## 就任のご挨拶



議長  
佐藤 晶二



副議長  
甲斐田 義弘

暑さ厳しい季節となりました。市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、私たちは久留米市議会の議長及び副議長の職責を担うこととなりました。

さて、久留米市は、県南の中核都市として、また、筑後地域の母都市として、これから大いに発展しなければならないと感じております。

そのような中、我々久留米市議会は、二元代表制の一翼として、それをしっかり支えていき、また、これまで以上に、さまざまな情報発信を行うなど、議会改革に取り組みながら、「市民の声が届く議会」、「より市民に開かれた議会」を目指してまいりたいと思います。そのために、粉骨砕身しっかりと頑張っていきますので、一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

## 定例会の概要

6月8日から22日までの15日間の日程で、平成29年第2回定例会を開催しました。

8日は、市長から体育施設条例の一部を改正する条例、中央卸売市場業務条例の一部を改正する条例、市営住宅条例の一部を改正する条例など18議案の提案説明がありました。

その後、議長・副議長から辞職願が提出され、辞職が許可されたため、議長及び副議長の選挙を行いました。38人の議員による選挙の結果、議長には佐藤晶二議員、副議長には甲斐田義弘議員が当選しました。

12日は常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任が行われた後、各委員会を開催し、委員長・副委員長の互選を行いました。（☞2 P）

その後、議員が市政に関する事務の執行状況や将来の方針などについて、市長や教育長に一般質問を行いました。一般質問については、15日まで行いま

した。（☞6 P）

16日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、19日には経常任委員会と総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された条例議案などを審査しました。（☞4 P）

20日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加で提出される議案の取り扱いなどを協議しました。

22日の本会議では、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決、または承認し、追加提出された監査委員の選任や農業委員会委員の任命（☞5 P）についても同意しました。

また、久留米市が近隣の自治体と共同で特定の事務を行っている久留米広域市町村圏事務組合や三井水道企業団などの一部事務組合の規約に基づき、各組合が設置している議会に選出する議員の選挙なども行い、（☞5 P）第2回定例会を閉会しました。

## 新しい委員会のメンバーが決まりました

### 議会運営委員会

議会運営委員会は、円滑な議会運営を行うために議会運営の全般について協議し、意見調整を図るために設置するものです。

石井 俊一  
原口 和人  
田中 良介  
石井 秀夫  
山下 尚

◎ 田中 功一  
○ 松岡 保治  
田中 多門  
佐藤 晶二  
副議長 甲斐田 義弘  
原口 新五



2ページから3ページまでの各委員会における◎は委員長、○は副委員長、氏名は写真の並び順です。

# 常任委員会

常任委員会は、その所管に属する市の事務を専門的に調査し、議案や請願を詳細に審査するために設置するものです。議長を除き、議員は必ず1つの常任委員会に所属します。

## 総務常任委員会

### 所管事項

市の総合政策、財政、税務、財産管理、協働の推進、久留米シティプラザ、地域振興などに関すること



石井 俊一	秋永 峰子	緒方 正子	太田 佳子	石井 秀夫
原口 新五	栗原 伸夫	◎吉富 巧	○山下 尚	甲斐田義弘

## 教育民生常任委員会

### 所管事項

子育て、学校教育、社会福祉、保健医療、文化芸術などに関すること



森崎 巨樹	田中 良介	松岡 保治	田中 貴子	
永田 一伸	甲斐征七生	◎坂井 政樹	○権藤 智喜	藤林 詠子

## 経済常任委員会

### 所管事項

商工業、観光、競輪、農林水産業、上下水道などに関すること



山村 太二	堺 陽一郎	古賀 敏久	田中 功一	
市川 廣一	田中 多門	◎原口 和人	○早田耕一郎	別府 好幸

## 建設常任委員会

### 所管事項

住宅、道路、河川、防災、環境保全、廃棄物処理などに関すること



大熊 博文	金子むつみ	塚本 弘道	山田 貴生	
森 多三郎	八尋 義伸	◎原 学	○田住 和也	塚本 篤行

## 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。  
ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

**可決!** ●第55号議案 久留米市中央卸売市場業務条例の一部を改正する条例、第56号議案 久留米市地方卸売市場水産物部業務条例

〔付託先：経済常任委員会〕

規制緩和により卸売業者等の取引の自由度を高め、主体的な経営による活性化を図るため、久留米市中央卸売市場の水産物部を地方卸売市場に転換すること等に伴い、必要な規定の整備等を行うものです。

委員から「卸売業者等にとっては活性化が期待できるとのことだが、本市にとってのメリット・デメリットは何か」との質疑があり、中央卸売市場から「市のメリットは、承認申請等の事務の簡素化である。デメリットは、施設整備に対する国の補助金を受けにくくなることである」との答弁がありました。

**承認!** ●第44号議案 自動車破損事故による損害賠償の専決処分について

〔付託先：総務常任委員会〕

久留米シティプラザの六ツ門テラスにおいて今年4月に発生した、可動式植栽が強風により移動し、道路に停止中の車両に衝突するという物損事故について、被害者の受けた損害を賠償するために<sup>\*</sup>専決処分をしたので、議会に報告し、承認を求めるものです。

委員から「事故を受けて、植栽の車輪の下にゴムパッドを敷くなどの対応をされているようだが、車輪を固定するなどの手立てが必要ではないか」との質疑があり、久留米シティプラザ施設運営課から「植栽の設置場所は緊急用車両の進入路になっており、火災などの際には移動させる必要がある。毎朝、車輪のロック確認など安全点検を行っているが、さらなる対応については検討させていただきたい」との答弁がありました。

<sup>\*</sup>専決処分…議会が議決すべき事柄について、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないなどの場合に、市長が議会で代わって決定すること。専決処分した事柄は、次回の議会で報告し、承認を求めることになっている。



活性化が期待される  
久留米市中央卸売市場の水産物部

**可決!** ●第46号議案 久留米市と福岡県との間の久留米市中央公園内の体育施設及び照明設備に係る事務の委託に関する規約の制定について

〔付託先：教育民生常任委員会〕

現在、中央公園内に建設している県立体育館内に一体的に整備される久留米市武道場、弓道場など、市所有の体育施設等の管理に関する事務などを、平成30年4月から県に委託するため、規約を制定するものです。

委員から「今後、県が指定管理者を選定することになると思うが、例えば、市内の地場企業が指定管理者として参入できるように、県と調整するなど、本市の主張を反映させることができるのか」との質疑があり、市民文化部から「本市の指定管理者制度の基本的な考え方としては、管理コストの縮減、市民サービスのさらなる向上、地域経済の活性化である。今回は、九州最大規模の施設になるため、しっかりと管理運営されることが優先されるが、今後も本市の考えを十分に伝えた上で、県と協議していきたい」との答弁がありました。



平成30年4月にオープン予定の  
(仮称)久留米スポーツセンター体育館

**可決！** ●第48号議案 財産（消防ポンプ自動車）の取得について

〔付託先：建設常任委員会〕

消防ポンプ自動車の老朽化に伴い、新たな消防ポンプ自動車3台を取得しようとするものです。

なお、取得後は、久留米市消防団の第18分団（宮ノ陣校区）、第19分団（山本校区）、第22分団（大橋校区）に配置する予定です。

委員から「第19分団の山本校区には、山間部もある。今回取得しようとする車両の変速装置はオートマチックであり、駆動方式は2輪駆動であるので、山間部での消火活動に不安はないか」との質疑があり、防災対策課から「現在の消防車両については、

性能が向上しており、本市の山間部においても問題なく走行できると考えている」との答弁がありました。



購入予定である消防ポンプ自動車（イメージ）

同意した人事案件

市長が選任または、任命する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。なお、敬称は省略しています。

●監査委員

櫛原町 樋口 明男 城島町 市川 廣一 田主丸町 大熊 博文

●農業委員会委員

宮ノ陣六丁目	飯田三津雄	北野町	池田 清茂	三潞町	池田 龍子
田主丸町	石井 孝雄	田主丸町	稲富 克紀	田主丸町	上村 孝二
三潞町	内田 洋一	安武町	緒方 義範	小森野五丁目	笠 幸夫
高良内町	古賀 誠一	南四丁目	古賀 喜治	善導寺町	坂井 康孝
田主丸町	平 壯一	八女市	田中 文	田主丸町	田中 弥生
山本町	手島富士雄	三潞町	富松 隆晴	城島町	中村 彩
北野町	日比生和雄	安武町	深川 嘉穂	城島町	松延 洋一
田主丸町	馬渡恵美子	田主丸町	森崎 康洋	大善寺町	諸藤 澄夫

一部事務組合議会議員の選挙

久留米市と近隣自治体が共同して特定の事務を行うため設置された一部事務組合の議会の議員を選挙で選ぶものです。

●久留米広域市町村圏事務組合議会議員

田中 良介 堺 陽一郎

●久留米市外三市町高等学校組合議会議員

塚本 弘道 森 多三郎

●両筑衛生施設組合議会議員

山村 太二

●浮羽老人ホーム組合議会議員

堺 陽一郎

●三井水道企業団議会議員

田中 功一

●甘木・朝倉・三井環境施設組合議会議員

山下 尚 田中 多門

議員の表彰

5月24日に開催された第93回全国市議会議長会定期総会において、5人の議員が表彰を受けました。なお、今年4月1日時点の在職年数で表彰されています。

●全国市議会議長会表彰

30年表彰	甲斐征七生議員	田中 多門議員
15年表彰	別府 好幸議員	大熊 博文議員 堺 陽一郎議員



今回は、病児保育のさらなる充実、外国人観光客のニーズに合わせた取り組み、民間団体との連携による河川敷の活用、学校施設の老朽化への対応などについて、質問が出たっば。



## 市政に対する 一般質問

久留米市  
イメージキャラクター

くるっば



病児保育のさらなる充実を

公明党議員団 田中 貴子

**問** 仕事と子育ての両立支援の取り組みとして、保育所等にいる子どもが体調不良になった場合に、病児保育施設の保育士などがお迎えに行き、医療機関を受診後、病児保育施設で預かるというお迎えつきの病児保育事業を開始する自治体がふえてきている。同様の事業を本市でも実施できないか。

**答** 子どもの急病時、仕事の都合や、仕事先が保育園等から遠いなどの理由で、すぐにお迎えに行けないこともあると認識している。国の制度見直しにより、病児保育施設の保育士等による送迎が可能となったが、実施に当たっては、看護師や保育士等のスタッフの確保及び施設整備等の問題もあるため、病児保育の送迎についての利用者ニーズを把握しながら、今後研究を行っていきたい。

◎その他の質問…「文化芸術に関する子どもの創造的体験の充実について」など



小児ぜんそくの治療に対する医療費支援の拡充を

みらい久留米議員団 秋永 峰子

**問** 小児ぜんそくの治療については、本市では15歳までを子ども医療制度による助成の対象としている。このため、15歳を過ぎて治療を続ける場合、家計への負担がふえることになるが、子育て支援の観点から、18歳までの医療費支援を行うべきではないか。

**答** 小児ぜんそく等の慢性的な疾病による継続的な医療費が、特に、低所得世帯等において、生活に影響を与えていることは十分に理解している。

全国的にみると、東京都や川崎市など、独自の助成を行う自治体もあるが、それらは大気汚染が懸念されるなど、地域特性に基づくものと認識している。このような地域特性によらない慢性的な疾病に対する支援については、本来、国の責務であると考えており、今後、国に対して、支援を要望していきたい。

◎その他の質問…「公立小・中学校正規教職員の採用人数の増加について」

## 職員数増による時間外削減を

久留米たすき議員団 原 学



**問** 市職員の時間外勤務が常態化している。これまで、正規職員数を合併以降の12年間で、二百十数名削減してきたことが、職員の時間外勤務が減少しない原因の一つであると考えます。

今後の職員の増員について、どのように考えているのか。

**答** これまで、ごみ収集業務などの民間委託等による職員削減を行ってきた。しかし、新たな行政需要等が発生してきているため、職員削減は限界にきていると認識しており、平成28年度から職員の採用をふやし、職員定数も増加している。

今後も、最小の経費で最大の効果を発揮できるような行政運営体制の構築に、さらに努力していきたいと考えている。

◎その他の質問…「防犯灯電気料金行政負担化の検討状況は」など

## 子どもが地域で学ぶ環境づくりを

明政会議員団 山村 太二



**問** 子どもの持つ才能を引き出し、世界で活躍できる人材を育てるには、社会教育として地域で人間関係を学ぶことが重要だと思う。学校、家庭に加え、地域での社会教育を通じ、豊かな感性を持った子どもの育成環境の整備が必要と考えるが、教育委員会として、現状と今後の取り組みをどう考えているのか。

**答** 学校では経験できない地域社会での体験や人々とのかわりかは、子どもが心豊かに成長するためには、重要と考えている。そのため、学校と地域の連携・協働が重要と認識し、地域学校協議会等の地域の教育力を活用して、子どもの学習習慣や生活習慣づくりを推進している。今後も、子どもと地域の人々とのかわりかを、さらに充実させ、地域活動への参加を促すため、学校の参加体制づくりと積極的な参加に向けた意識の醸成を支援していきたい。

◎その他の質問…「ヘルスケアICTについて」など

## 外国人観光客のニーズに合わせた取り組みを

緑水会議員団 森崎 巨樹



**問** 先日、外国人観光客を案内する機会があったが、市役所の展望ロビーなど意外なところが好評であった。本市では、外国人観光客の受け入れを推進しているが、観光客のニーズと食い違いがあるように感じる。今後、観光客のニーズに合わせた魅力向上の取り組みをどのように進めていくのか。

**答** 本市ではこれまで、九州観光推進機構などと連携し、旅行会社やマスコミなどを招いたモニターツアーを実施してきた。また、今年2月には、タイ王国で現地の旅行代理店などと意見交換会を実施し、外国人観光客のニーズ把握に取り組んできた。

今後も、事業者や地域の方などと連携して、地域資源を磨くとともに、資源の効果的なプロモーションを展開し、一層の外国人観光客の誘客に努めたい。

◎その他の質問…「スポーツコンベンションについて」など

## キラリ補助金の活用状況は

明政会議員団 田中 良介



**問** 本市では、ボランティア活動などを支援する「キラリ輝く市民活動活性化補助金」を平成24年度に創設した。高齢者の見守りなど、さまざまな分野で行われている活動を財政面から応援している。6年目となった今、その活用状況と課題、今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 28年度の補助金採択件数は109件、補助金額は約2,600万円で、制度創設時と比較して、件数で約2.5倍、金額で約1.4倍と活用団体数はふえている。

課題としては、協働のまちづくりを進めていくために、さらに補助金活用団体の裾野を広げていくことが重要である。そのため、説明会を積極的に開催し、市民活動へ関心を持っていただくとともに、使い勝手の良い制度となるよう工夫していく。

◎その他の質問…「鉄道駅のバリアフリー化について」など



### 民間団体との連携による河川敷の活用は

久留米たすき議員団 松岡 保治

**問** 平成23年4月の規制緩和により、河川敷は一定の要件を満たすことで、民間事業者等が自由な発想で利用することが可能となっている。筑後川河川敷は、本市のにぎわいづくりの貴重な資源であると考えますが、民間団体との連携による、にぎわいづくりの取り組みについて伺いたい。

**答** 本市では、河川敷を活用した新たな取り組みに、「キラリ輝く市民活動活性化補助金」による支援を行っている。その成果として、今年5月、民間団体が市や国と連携し、音楽演奏会など、さまざまなイベントを社会実験として開催し、多くの人でにぎわった。今後は、全国の取り組みの事例収集などを行いながら、民間団体と連携した筑後川河川敷の活用手法について、検討していきたいと考えている。

◎その他の質問…「買い物弱者対策の現状、今後について」など



### 国保広域化に向けた現状は

無所属クラブ 緒方 正子

**問** 平成30年度から、県が保険者となる「国保広域化」が実施される。保険料は、県が示す納付金を参考に、本市が決めることになるが、県から納付金の提示はあっているのか。また、福岡市や北九州市に比べ、保険料が高い要因をどう考えているのか。

**答** 市町村が県に支払う納付金については、運営方針等を協議する県国保運営協議会で、29年11月に答申が出される予定である。今後、県は協議会からの答申を受け、30年1月頃に市町村ごとの納付金を決定し、通知する予定である。現在の保険料は、市町村ごとに、加入者の医療費水準や所得水準、一般会計からの繰入金等のさまざまな要因に基づき決定する。このように、市町村ごとに状況が異なっているので、保険料が高い要因の分析は、困難だと考えている。

◎その他の質問…「社会保険加入義務のない事業者が建設現場から排除される実態について」など



### 特別徴収税額通知書への個人番号記載の中止を

日本共産党議員団 金子 むつみ

**問** 個人番号を事業者に提出していない従業員の個人番号を記載した特別徴収税額通知書を、事業者に送付しているが、本人の同意なく個人番号を記載する根拠は何か。また、今後、市が送付する通知書に個人番号を記載しないようにできないか。

**答** 平成29年度以降の特別徴収税額通知書については、地方税法やマイナンバー法等に基づき、市区町村は特別徴収義務者である事業者に、従業員の個人番号を記載した通知書を送付することとなっている。そのため、本市でも法令や総務省のガイドラインに基づき個人番号を記載し、送付している。

個人番号制度は公平・公正な課税や事務の効率化につながることを期待されるため、本市としては、今後も法令等に準じた取り扱いをしていく。

◎その他の質問…「意識調査の調査目的「人権・同和教育の更なる深化充実」とは何か」など



### 財政状況のさらなる改善を

明政会議員団 田住 和也

**問** 本市の平成27年度の<sup>\*</sup>財政力指数は、0.65となっており、全国平均0.50、県平均0.51を上回っているものの、中核市の平均0.78を下回り、総務省の統計によると、中核市45市中37位となっている。

このことなどから、本市の財政状況は、まだまだ改善できる余地があると思うが、29年度以降は、どのように改善していくのか。

**答** 財政状況の改善には、市税を中心とした自主財源の安定的な確保が必要不可欠である。そのため、移住・定住の促進や企業誘致の推進等に取り組んでいくことで、新たな人の流れや雇用が生まれ、将来的な市税の増収と持続的発展への好循環が確立できるものとする。今後も、歳入・歳出の両面から、しっかりと行財政改革の取り組みを推進していきたい。

◎その他の質問…「小・中学校教諭の勤務時間及び体制づくりについて」など

マイナンバー法…「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」のこと

財政力指数…地方公共団体の財政力を示す指数のこと。「1」に近く、さらに「1」を超えるほど財源に余裕があるといえる。



## 学校施設の老朽化への対応は

明政会議員団 山田 貴生



**問** 現在、市立学校の多くの校舎で雨漏りが発生していると聞いている。鉄筋コンクリートの建物で雨漏りが発生し、長期間改善されない場合、コンクリート内部の鉄筋がさびて、校舎全体が劣化していくことになる。校舎の長寿命化を行うためには、早急に外壁や屋上防水等の改修を進めるべきであるが、どのように考えているのか。

**答** 建物の外壁や屋上防水等の劣化は、雨漏りの原因となり、建物の老朽化を早めるため、適切な時期に必要な改修を行うことが重要である。しかし、学校施設の改修には、長い期間と多くの費用を伴うため、夏季休暇等を活用し、順次、改修を進めている。

今後も、児童生徒の安全性確保を最優先課題とし、学習環境に配慮しながら、各学校の劣化の状況に応じて、計画的な改修に取り組んでいきたい。

◎その他の質問…「緑地の維持・管理について」など

## 激変する社会環境に対応した教育を

公明党議員団 坂井 政樹



**問** 現在の社会環境は劇的に変化していくことが想定される。そのような中で、「生きるために必要となる健全な判断」が育成される教育が、時代の求める人材の育成につながると考える。次の時代を担う子どもたちが、激変する社会を生き抜くために必要な教育について、どのように取り組んでいるのか。

**答** 第3期教育改革プランでは「ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成」を大きな目標として設定している。それを支える具体的な力として、「まなぶ力」、「つながる力」、「やりぬく力」を育成することとしている。

そのような視点から、授業改善や学習・生活習慣を定着させる学校・家庭・地域との協働による取り組みの充実を図っているところである。

◎その他の質問…「地方創生における産業政策について」など

## 保護者の一日保育体験の実施を

みらい久留米議員団 古賀 敏久



**問** 保護者が一日保育者として、日常の保育を経験する保育参加という取り組みがある。保育を実際に経験することで、保育に対する理解を深め、また、保護者自身の育児の仕方や、子どもとのかかわり方を再認識することができると思われる。本市では、保育参加について、どのように考えているのか。

**答** 保護者の保育参加は、育児に悩む保護者等の支援に有効であると認識している。他自治体の事例をみても、「保護者の一日保育士体験事業」などがあり、保護者の育児不安の解消や子どもを育てる力の醸成に大きな効果があるとされている。

今後も、先進事例などを参考にしながら、保護者の保育参加の取り組みについて、調査研究を進めていきたいと考えている。

◎その他の質問…「公共交通ネットワークにおけるタクシーの役割について」

## 次回の定例会（予定）のお知らせ

今回は、9月5日（火）から20日（水）の期間で開催する予定です。全ての日程の開催時刻は、午前10時を予定しています。なお、日程は予定ですので都合により、変更されることがあります。

9月5日（火）…議案の提案説明など

7日（木）

…一般質問など

12日（火）

13日（水）…常任委員会（教育民生・建設）

14日（木）…常任委員会（経済・総務）

20日（水）…審議採決など

なお、定例会閉会後の9月22日（金）から10月2日（月）まで決算審査特別委員会が開催される予定です。



# 常任委員会の活動状況（4月～5月）

## 総務常任委員会

▶ 4月20日

▷ 広報について

市政情報などが、市民へタイムリーに伝わるように、広報くるめやSNSなどで情報発信を行う広報活動の取り組みについて、広報課から説明を受けました。

**Q** 市の情報発信におけるSNSの活用は非常に重要で、もっと強化していただきたいと考えているが、広報課以外の部局での取り組み状況はどうか。

**A** 広報課以外にも、久留米シティプラザなどが、既にSNSを活用している。今後も、広報研修などの機会を通じて、もっとふやしていけるように呼びかけていきたい。

※ SNS…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称。インターネット上で、友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて、新たな人間関係を構築する場を提供するサービス。

▶ 5月24日

▷ 久留米市の公衆無線LAN（Wi-Fi）について

来街者の利便性や回遊性の向上を図るため、くるめシンボルロードで提供されている公衆無線LANサービスの現状や今後の展開について、情報政策課から説明を受けました。

**Q** 避難所など、防災上の拠点へWi-Fi環境を整備することについて、どのように考えているのか。

**A** 避難所などへの整備は必要であると考えており、今後検討していきたい。

無料でWi-Fiつかえます



Wi-Fiの提供エリアであることを示すパネル

## 教育民生常任委員会

▶ 4月17日

▷ 屏水中学校校舎改築工事について

平成27年7月から校舎改築を進めている屏水中学校について、普通教室などが入る、校舎の北側部分が29年3月に完成し、4月から供用開始したため、現地調査を行いました。

現地では、普通教室や理科室、コンピューター室などの各教室を調査しました。



校舎の北側部分が完成した屏水中学校を調査

▶ 5月29日

▷ 久留米市の動物愛護管理行政について

犬・猫の殺処分数削減や、ペットの適正な飼い方の指導・啓発の取り組みなどについて、衛生対策課から説明を受けました。

**Q** 飼い主教育については、さまざまな事業に取り組んでいるようであるが、子どもたちへの啓発をどのように行っていくのか。

**A** 本市の動物愛護行政などについて協議を行う、「久留米市どうぶつ「YOU・友」事業推進協議会」に市教育委員会も参画し、さまざまな啓発イベントを行っている。

子どもたちへの啓発は重要と考えており、学校での動物愛護に関する啓発も含め、関係機関と連携しながら、さらなる啓発に取り組んでいきたい。

市議会では4つの常任委員会が分野ごとに市の事務事業を所管しています。定例会以外でも毎月委員会を開催し、市の計画や事業内容を調査し、必要に応じた見直し、充実を求める所管事務調査を行っています。なお、今回掲載している記事は、平成29年6月12日に新たに選任される前の常任委員による審査の内容です。

## 経済常任委員会

▶ 4月14日

▷ 上下水道料金等の収納率向上の取組みについて  
安全で安心な水を提供することや、汚水を適正に処理する事業などを実施する財源となる、上下水道料金等の収納率向上の取組みについて、営業管理課から説明を受けました。

**Q** 納付書による支払いに比べ、口座振替による支払いのほうが、収納率はよい傾向にあるが、口座振替推進にどのように取り組んでいるのか。

**A** 収納率向上のため、口座振替の推進に最重点で取り組んでいる。具体的には、給水開始の申し込みや検針時において、口座振替を案内している。そのほか、年に2回、口座振替強化月間を設定し、電話での勧誘やダイレクトメールの送付等を行っている。

▶ 5月23日

▷ 農業用ため池の現状等について  
農業用水の確保を主な目的としてつくられた、ため池の現状と課題、今後の取組みについて、農村整備課から説明を受けました。

**Q** ため池を整備することで、人が近づきやすくなり、事故が起こることが危惧されるが、安全管理をどのように行っているのか。

**A** 市有ため池については、危険性が高い場所にネットフェンスやガードレールの設置などを行ってきた。今後も、安全に十分に配慮し、維持・管理に努めたい。



整備された市有のため池（左：整備前、右：整備後）

## 建設常任委員会

▶ 4月28日

▷ 久留米市域の治水事業について  
河川の整備や市街地浸水対策などの施設整備に加え、浸水被害の軽減を図るための道路冠水注意マップの作成などを行っている治水対策事業について、河川課から説明を受けました。

**Q** 道路冠水注意マップを作成してホームページで公開しているが、ほかにどのような周知方法を考えているのか。

**A** 梅雨前に各校区コミュニティセンターにマップの説明と配付を行う。また、地域が行う自主防災研修や訓練に職員が出向くなど、機会を捉えてマップの見方や活用方法などについて説明したい。

▶ 5月29日

▷ ポリ塩化ビフェニル（PCB）<sup>\*</sup>廃棄物の期限内処理について

健康被害を発生させるおそれのある、PCB廃棄物の確実かつ適正な処理を行うための取組みについて、廃棄物指導課から説明を受けました。

**Q** 閉鎖した事業所の倉庫などに残っているPCB廃棄物については、調査しているのか。

**A** 閉鎖した事業所を含めた建物所有者に調査票を送付しており、未回答者については現地調査を実施し、指導等を行っている。

※PCB…人工的につくられた化学物質で、変圧器等の電気機器用絶縁油として広く利用されてきた。しかし、健康被害が確認されたため、昭和47年以降は製造や新たな使用は禁止されている。PCB廃棄物は特別な保管・処分が必要である。

# 教えて！くるっぱ！

## 〈政務活動費って、なあに？〉



議会への素朴な疑問をくるっぱが  
わかりやすく解説します

**Q** 政務活動費って、なあに？

**A** 地方自治法に基づき、議員の調査研究やその他の活動（政務活動）に必要な経費の一部として交付されるんだよ。久留米市では、条例に基づき、議員が所属する会派に、所属議員1人当たり月額50,000円を年4回に分けて交付しているんだよ。

**Q** 政務活動費の対象となる経費って、なあに？

**A** 政務活動費は、久留米市が定める条例や規則で対象となる経費の範囲が決められているんだよ。例えば、議員が研修会に参加するための経費、先進事例などの調査を目的とした視察に係る経費、市民に活動成果や市政の報告をするための経費などがあるんだよ。決められた経費以外には使えないので、交付額から経費を差し引いた残りは、市に返還することになっているんだよ。

**Q** 政務活動費の収支状況は、見ることができるの？

**A** 平成28年度分の会派ごとの収支報告一覧は、市議会のホームページで公開しているよ。そのほか領収書などの添付書類は、情報公開請求によって見ることができるので、議会事務局まで尋ねてみてね。

## 〈本会議って、インターネットでも見ることができるの？〉

**Q** 本会議って、インターネットでも見ることができるの？

**A** 久留米市議会では、インターネットで生中継と過去4年間の録画映像を見ることができるんだよ。

**Q** 本会議の録画映像って、パソコンでしか見れないの？

**A** 今までは、パソコンでしか録画映像は見るができなかったんだよ。でも、平成29年6月定例会分から、スマートフォンやタブレットでも見るできるようになったんだよ。

スマートフォンやタブレットでも、本会議を見ることができるようになって、市議会が、より身近に感じられるようになったね。



政務活動費の会派ごとの収支報告一覧や本会議の録画映像は、ホームページでごらんいただけます。

久留米市議会

検索

クリック



久留米市議会HPの  
QRコード

## 新しい議会広報委員会のメンバーです！



山田  
貴生

森崎  
巨樹

山下  
委員長  
尚

早田  
耕一郎

6月に議会広報委員会のメンバーが新しくなり、市議会だよりの編集などの活動をしています。

今後は、市議会だよりやホームページだけでなく、さまざまな方法で議会の情報を発信していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。